

昭和四年

(一)

合掌 私の話はむつかしい。広島でさえ私の話はむつかしいとの評判です。真に聞いてくれる人はほんとうに少ないといつていいのです。よく今日まで聞いてくれました。聞いて聞いてききぬいてわからぬことがあるものですか、今日はお手紙有難う御座いました。

もう体もよくなつたとの事で安心しました。したいしたわれるのもみ仏様による因縁です。あり難い因縁です。どうしてわすれられましょう。一緒にみ仏の国に生まれさせて貰うまで、いいえ永遠にわかれることの出来ない身にして頂いたのです。六月は田植えで忙しいことですね、その田植えがすぐ七月が来ます。それまでに私は九州に行つて来ます。九州はもう三年も行きませんでした、五月中は福山の方にいます。忙しい時に体を大切に、人が集まつた時、いらぬつまらぬことを決してしゃべらぬように、み仏様のことを話しておはたらき下さい。国歌を歌つて仕事をして下さい。

昭和四年五月十五日

平田屋様

本部 住岡狂風